

～学んだ手段は？かけたお金は？予算感は？～ 年齢帯別 学び事・習い事実態調査

【20～34歳】 VS 【35～49歳】 VS 【50～64歳】

- 「学び事・習い事」の手段は、「スクール・教室に通学」。女性では実施者のほぼ半数を占める
- 趣味目的の習い事にかかる金額は、年齢帯にかかわらず男女とも大きくは変わらない
- 仕事や資格取得目的の講座が多い「一括払い」で支払った金額は、20～34歳が最も高い

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山口 文洋）が企画・運営する講座・レッスンの資料請求・予約サイト『ケイコとマナブ.net』は、学び事・習い事事情を把握するため、全国の働く男女を対象に「人気おケイコランキング」調査を実施しています。今回はその結果をもとに年齢帯別（20～34歳、35～49歳、50～64歳）に比較した調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。なお、結果は『ケイマナニュース！』でも紹介しています。<http://www.keikotomanabu.net/news/>

結果の要約

◇学んだ手段、学ぶ頻度 ～年齢帯別比較～

…P.4～5

- 「学び事・習い事」に用いる手段は男女ともに「スクール・教室に通学」
- 独学、通信講座、スマホ・PCを用いた学習などは男性の方が利用率が高い
- 通学の場合、学ぶ頻度は男性の方が高くなる傾向

学び事・習い事に用いる手段は、女性は全年齢帯で50%前後、男性も40%前後と「スクール・教室への通学」を利用した人が圧倒的に多かった。他に女性の全年齢帯および男性の20～34歳では「ジム、フィットネスクラブ」、女性の50～64歳で「カルチャーセンター」といった手段も利用されており、学習においてリアルの場の価値を高く評価するカスタマーが多いことがうかがえる。一方、独学、通信講座、スマホ・PCを用いた学習といった、自宅や通勤時間を活用した学習については女性よりも男性の方が利用率が高い結果となった。また、通学における学ぶ頻度については、女性よりも男性の方が週3回以上と答える比率が高く、男性の方がいったん学ぶと決めたら集中的に学ぶコースを選択していることがうかがえる。

◇支払方法・支払金額、学びの予算 ～年齢帯別比較～

…P.6～8

- 支払方法は男性で「一括払い」が多く、女性（特に50～64歳）で「月謝制」が多い
- 「一括払い」では20～34歳の支払金額が最も高い
- 趣味目的の予算は年齢帯であまり差がみられないが、仕事・資格の目的でかけられる金額は、女性は20～34歳、男性は50～64歳が高くなる

支払方法は一般的に、仕事・資格取得目的の学び事・習い事の場合一括払いの比率が高く、趣味目的の場合は月謝制の比率が高くなるが、調査結果はそれを反映した結果となった。月謝制や趣味目的では実際に支払った金額もかけられる金額も、年齢帯による差はあまりない。一方仕事・資格取得目的の場合、長期・高額の講座を選ぶ可能性の高い20～34歳の金額が高め。男性の場合、第二の人生への投資の性質が強いからか、50～64歳で上昇する結果となった。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

調査概要と回答者プロフィール

【ケイコとマナブ 学び事・習い事実態調査 調査概要】

調査目的： 20～34歳、35～49歳、50～64歳それぞれの学び事・習い事の実態を把握するとともに、今後の意向を確認する

調査対象者：全国20～64歳の働く男女

(株式会社マクロミルのモニターに実施した前掲「実施率調査」において、
学び事・習い事を「1年以内にしたことがある」と回答した者に対して実施)

調査方法：インターネットアンケート調査

調査期間：2016年12月21日(水)～2016年12月24日(土)

回収数：

	女性	男性
20～34歳	518	518
35～49歳	210	209
50～64歳	208	208

あらかじめ設定した下記の6ブロックの地域から、平成22年国勢調査の人口比率で男女／年齢帯別に回収

- ・北海道・東北地方 (北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)
- ・関東地方 (東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県)
- ・中部地方 (愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県)
- ・関西地方 (大阪府、京都府、奈良県、兵庫県、滋賀県、和歌山県)
- ・中国・四国地方 (岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県)
- ・九州・沖縄地方 (福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

【回答者プロフィール】

◆ 居住地

	20～34歳	35～49歳	50～64歳	20～34歳	35～49歳	50～64歳
	女性	女性	女性	男性	男性	男性
北海道・東北	11.0%	11.0%	13.0%	10.8%	10.5%	12.5%
関東	34.7%	34.8%	31.3%	36.7%	36.8%	32.2%
中部	18.0%	18.1%	18.3%	18.0%	18.7%	18.8%
関西	17.0%	17.1%	15.9%	15.8%	15.8%	15.4%
中国・四国	8.5%	8.6%	9.6%	8.1%	8.1%	9.1%
九州・沖縄	10.8%	10.5%	12.0%	10.6%	10.0%	12.0%

◆ 雇用形態

	20～34歳	35～49歳	50～64歳	20～34歳	35～49歳	50～64歳
	女性	女性	女性	男性	男性	男性
会社員・契約・派遣社員	72.0%	54.8%	27.9%	79.2%	83.3%	69.2%
公務員・団体職員	4.1%	2.9%	4.8%	7.3%	2.9%	9.1%
自営・フリーランス	3.1%	9.0%	23.6%	5.2%	9.1%	19.2%
アルバイト・パート	20.8%	33.3%	43.8%	8.3%	4.8%	2.4%

【学び事・習い事選択肢一覧】

1	英語
2	フランス語
3	イタリア語
4	スペイン語
5	中国語
6	韓国語
7	ワード・エクセル
8	アクセス
9	WEBクリエイティブ
10	DTP
11	SE・プログラマ
12	簿記
13	宅地建物取引士
14	税理士
15	行政書士
16	司法書士
17	ファイナンシャルプランナー
18	中小企業診断士
19	社会保険労務士
20	公認会計士
21	ビジネススクール・MBA
22	インテリアコーディネーター
23	CAD
24	ライター・編集・シナリオ
25	心理・カウンセリング
26	医療（看護・医療事務など）
27	ホームヘルパー
28	幼児教育（保育士・ベビーシッターなど）
29	ブライダルコーディネーター
30	エステティシャン
31	整体・マッサージ
32	トリマー
33	ヴォーカル・カラオケ
34	ゴスペル
35	ピアノ
36	バイオリン
37	フルート
38	サックス
39	ウクレレ
40	ギター
41	ドラム
42	琴
43	三味線・三線
44	絵画
45	陶芸
46	ジュエリー・アクセサリー
47	編み物・刺しゅう
48	写真・カメラ
49	家庭料理
50	フランス料理

51	イタリア料理
52	中華料理
53	エスニック料理（ベトナム、タイ、インド）
54	日本料理・懐石料理
55	薬膳・漢方
56	パン
57	お菓子
58	お茶（紅茶、煎茶、中国茶）
59	ワイン・チーズ
60	食育
61	メイク
62	カラー（コーディネーター、セラピー）
63	ネイル
64	アロマセラピー
65	リフレクソロジー
66	茶道（抹茶）
67	マナー・フィニッシング
68	着付け
69	フラワーアレンジメント
70	プリザーブドフラワー
71	生け花
72	カーデニング
73	書道
74	ペン字
75	フィットネスクラブ
76	エアロビクス・ボクササイズ
77	ゴルフ
78	テニス
79	乗馬
80	ダイビング
81	サーフィン・ボディーボード
82	ボルダリング
83	ヨガ・ピラティス
84	ウォーキング
85	太極拳
86	護身術
87	空手
88	日本舞踊
89	社交ダンス
90	バレエ
91	ジャズダンス
92	ストリートダンス
93	タップダンス
94	フラメンコ
95	フラダンス
96	サルサ
97	アルゼンチンタンゴ
98	ベリーダンス
99	その他

【調査概要一覧】

	総回収数	調査期間	対象者※		調査方法
			性別	年齢	
2016年度	1871人	2016年12月21日～24日	女性・男性	20～34歳・35～49歳・50～64歳	インターネット アンケート 調査
2015年度	1871人	2015年12月11日～13日	女性・男性	20～34歳・35～49歳・50～64歳	
2014年度	2072人	2014年12月12日～14日	女性・男性	20～34歳・35～49歳	
2013年度	2072人	2013年12月14日～16日	女性・男性	20～34歳・35～49歳	

※株式会社マクロミルのモニターに行った「学び事・習い事の実施率に関する調査」において、学び事・習い事を「1年以内にしたことがある」と答えた者のうち、「学生」「専業主婦」「無職」を除く者に対し実施。

学び事・習い事を実施する際の

学ぶ手段の中心は男女ともに「スクール・教室に通学」。

女性ではほぼ半数を占めた。

一方で独学、通信講座、スマホ・PCを利用した学習では、男性の利用率が高い。

学ぶ際に利用した手段では、男女ともにスクール・教室を選んでいる人が多く、特に女性の20～34歳、35歳～49歳では半数を超えている。また、「ジム、フィットネスクラブ」については全年齢帯の女性と男性の20～34歳、カルチャーセンターについては50～64歳の女性の利用度が高い。これらの学習形式の利用度の高さからは、学習におけるリアルな場の価値を高く評価する顧客の多さがうかがえる。

また独学、通信講座、スマホ・PCを利用した学習といった自宅や通勤時の時間を利用した学習については、女性よりも男性の方が利用率が高い結果となった。

■ 学ぶ手段（複数回答）

	女性 回答率 (%)			男性 回答率 (%)		
	20-34歳	35-49歳	50-64歳	20-34歳	35-49歳	50-64歳
スクール・教室に通学	53.9	55.2	49.5	42.3	37.8	41.8
ジム、フィットネスクラブ	18.0	17.6	15.9	13.3	8.1	7.7
大学・大学院	1.7	1.0	2.9	5.6	3.3	2.9
専門学校	2.3	0.5	1.0	5.6	1.0	1.9
カルチャーセンター	6.4	7.1	14.4	6.0	7.7	3.8
大学の公開講座	1.5	1.0	1.0	3.9	2.9	0.5
通信講座	19.9	13.3	8.7	20.7	19.1	18.3
独学（書籍など）	17.2	19.0	13.5	26.6	23.0	25.0
留学	1.2	0.0	1.0	2.5	0.0	0.0
テレビ	2.1	2.4	1.9	5.8	3.8	3.4
ラジオ	1.4	2.4	2.4	3.5	2.9	4.8
DVD・ビデオ	3.5	0.5	1.4	4.1	3.8	3.4
スマホ・PCでの動画視聴	3.9	4.3	2.9	10.8	7.2	10.1
スマホ・PCでのオンライン教授※	2.9	3.8	4.3	5.8	3.8	5.8
その他インターネット	1.2	4.8	4.8	5.2	6.2	13.0
自宅などに講師派遣	1.7	3.3	2.4	2.1	1.4	1.4
DS、Wiiなどのゲーム	0.8	0.5	0.0	1.2	1.0	0.5
スマートフォンやタブレットのアプリ	2.3	2.4	2.4	4.1	7.7	4.3
その他	3.3	3.8	4.8	2.5	3.8	3.4

回答数（人）	女性			男性		
	20～34歳	35～49歳	50～64歳	20～34歳	35～49歳	50～64歳
	518	210	208	518	209	208

※各教育機関がインターネットを通じて行う講義等を指す。

男性の方が自宅学習の比率は大きいですが、いざ通学するとなると、学ぶ頻度が高くなる傾向。

学ぶ頻度については、男性の方が一週間に通う頻度が高い結果となった。仕事のために学ぶことが多い男性の方が、学ぶと決めたら集中的に学ぶコースを選んでいるのではないかと考えられる。

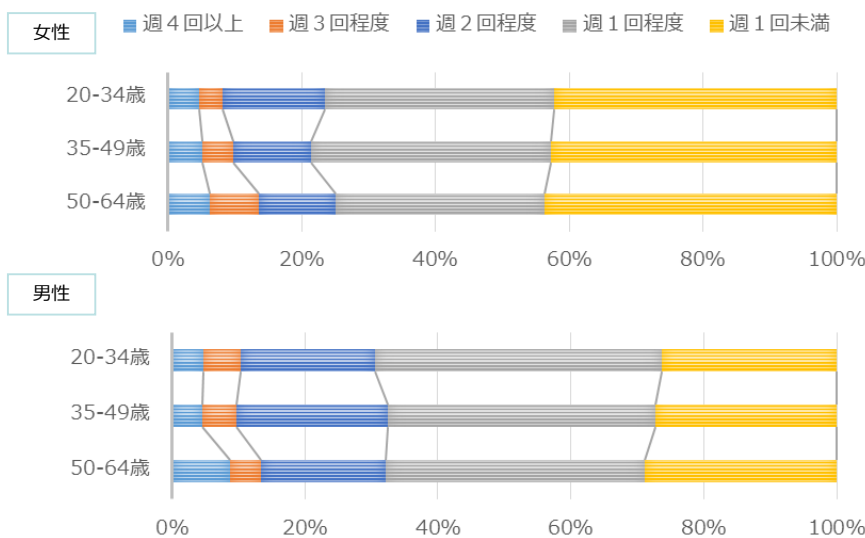
■学んだ頻度（単一回答）

	女性 回答率 (%)			男性 回答率 (%)		
	20-34歳	35-49歳	50-64歳	20-34歳	35-49歳	50-64歳
週4回以上	3.9	4.3	5.3	3.5	3.3	6.3
週3回程度	2.9	3.8	6.3	4.2	3.8	3.4
週2回程度	12.7	9.5	9.6	15.1	16.7	13.5
週1回程度	28.4	29.5	26.4	32.2	29.7	27.9
週1回未満	34.9	35.2	37.0	19.7	20.1	20.7
通信講座、自宅学習のみ	17.2	17.6	15.4	25.3	26.3	28.4

	女性			男性		
	20-34歳	35-49歳	50-64歳	20-34歳	35-49歳	50-64歳
回答数 (人)	518	210	208	518	209	208

※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。

■通学実施の場合の学んだ頻度（単一回答）



	女性			男性		
	20-34歳	35-49歳	50-64歳	20-34歳	35-49歳	50-64歳
回答数 (人)	429	173	176	387	154	149

※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。

男性は一括払いが多く、女性は月謝制で費用を支払う率が高い。
特にシニア女性で月謝制の回答率が高くなる傾向。

学んだ際に利用した支払方法では、女性の方が月謝制を選ぶ比率が高く、男性の方が比較的一括払いを選ぶ比率が高い。女性の方が、月謝制であることが多いヨガ・ピラティスや趣味系の習い事を実施している比率が高いためと考えられる。

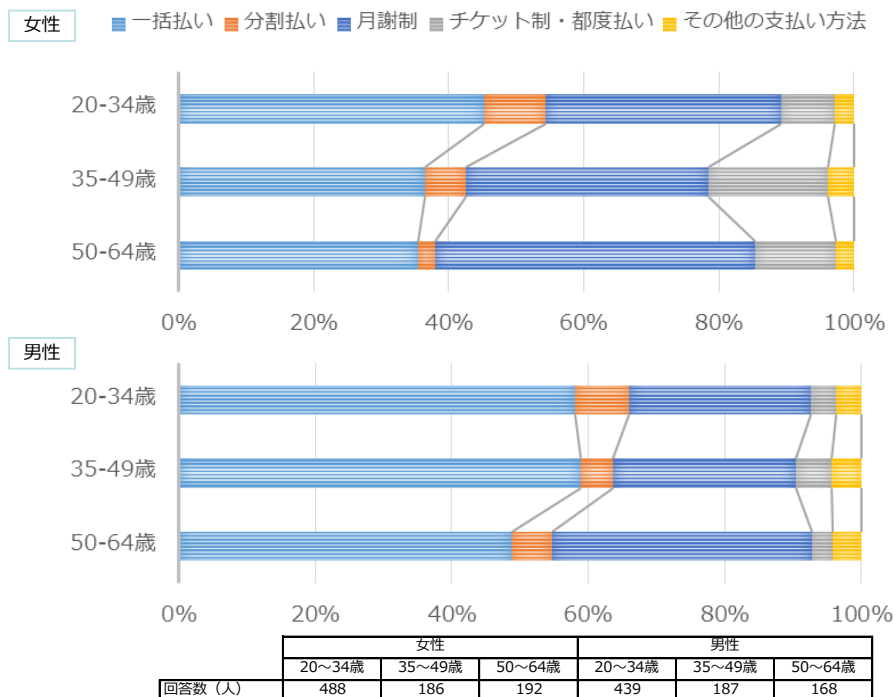
■学んだ際に利用した支払方法（単一回答）

	女性 (%)			男性 (%)		
	20-34歳	35-49歳	50-64歳	20-34歳	35-49歳	50-64歳
一括払い	42.7	32.4	32.7	49.2	52.6	39.4
分割払い	8.5	5.2	2.4	6.8	4.3	4.8
月謝制	33.0	31.9	43.8	22.6	23.9	30.8
チケット制・都度払い	7.3	15.7	11.1	3.1	4.8	2.4
その他の支払い方法	2.7	3.3	2.4	3.1	3.8	3.4
金額はかかっていない	5.8	11.4	7.7	15.3	10.5	19.2

	女性			男性		
	20~34歳	35~49歳	50~64歳	20~34歳	35~49歳	50~64歳
回答数(人)	518	210	208	518	209	208

※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。

■有償の場合の支払方法（単一回答）



※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。

年齢帯別比較 かけた金額

「月謝制」で月当たりにかけた金額は、各年齢帯とも男性の方が高くなる傾向。一方、「一括払い」では20～34歳で金額が高くなる結果に。

実際にかけた金額の平均値は、月謝制では年齢帯での差はあまりみられなかったが、全年齢帯とも男性のほうが金額が高くなる傾向となった。

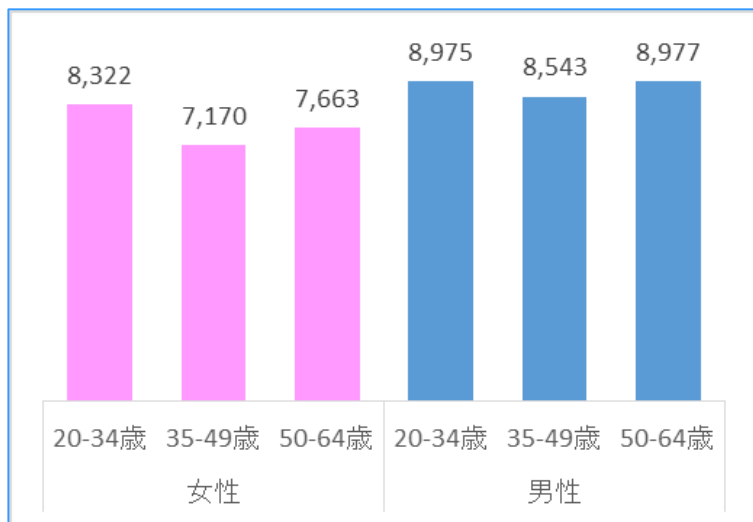
一方、一括払いで支払った総額では、男女ともに年齢が若いほど高くなったが、男性ではその傾向が特に強くなる結果となった。

男女ともに、20～34歳の方が、長期・高額講座が多いキャリアチェンジ系の講座を利用する割合が大きいいため、平均金額を押し上げたものと考えられる。

■ 学び事・習い事にかけた金額（月謝制で払っている人／一括払いをした人）

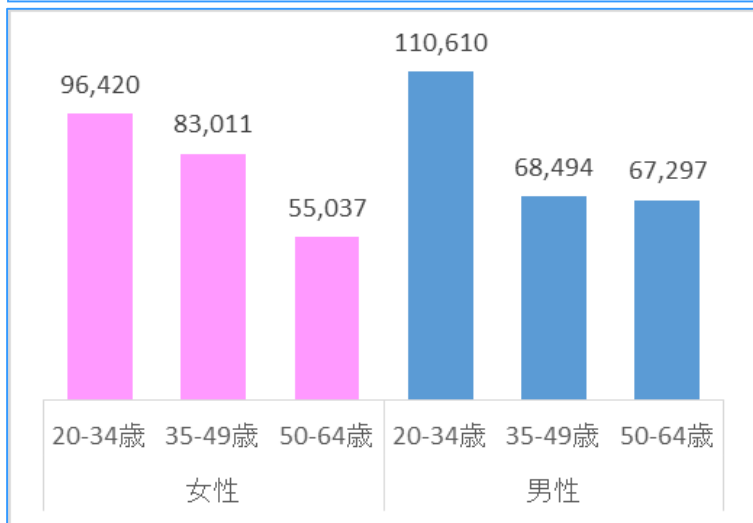
※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。

月謝制 月当たりにかけた金額（平均）（単位 円）



回答数(人)	女性			男性		
	20~34歳	35~49歳	50~64歳	20~34歳	35~49歳	50~64歳
	171	67	91	117	50	64

一括払い 総額（平均）（単位 円）



回答数(人)	女性			男性		
	20~34歳	35~49歳	50~64歳	20~34歳	35~49歳	50~64歳
	219	68	68	253	109	81

趣味目的の習い事への予算額は、女性よりも男性の方が高め。
 年齢帯による差はあまりみられない。
 仕事や資格取得の目的での予算額は、女性では20～34歳の予算が高い。
 男性では35～49歳で低く、50～64歳で高くなる傾向にある。

学び事・習い事かけられる金額・予算感について調べるため、「気軽に始められる金額」「始めるかどうかしっかり考えて決める金額」に分けて聞いた。

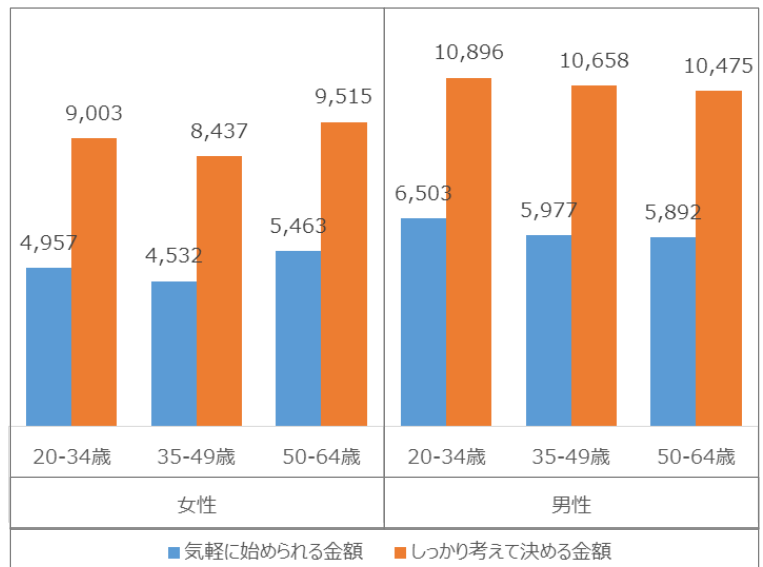
趣味目的の習い事では年齢による差はあまりみられないが、女性は「気軽に始められる金額」「考えて決める金額」とも、35～49歳でいったん下がり、50歳以上で再度上がる結果に。女性は子育てが一段落すると自分のために使う優先順位が上がっているためと考えられる。

また、仕事・資格取得の目的の場合、女性は年齢帯が若い方が高く、男性の場合は20～34歳に比べ35～49歳が低くなり、50歳以上で高くなるという結果になった。男性の場合は、定年を前に「第二の人生で仕事を続けるための投資にはある程度お金がかかる」と認識しているのではないかと推察される。

◆趣味目的の 習い事かけられる金額 (1カ月あたり 単位：円)

※有効回答者 実額回答

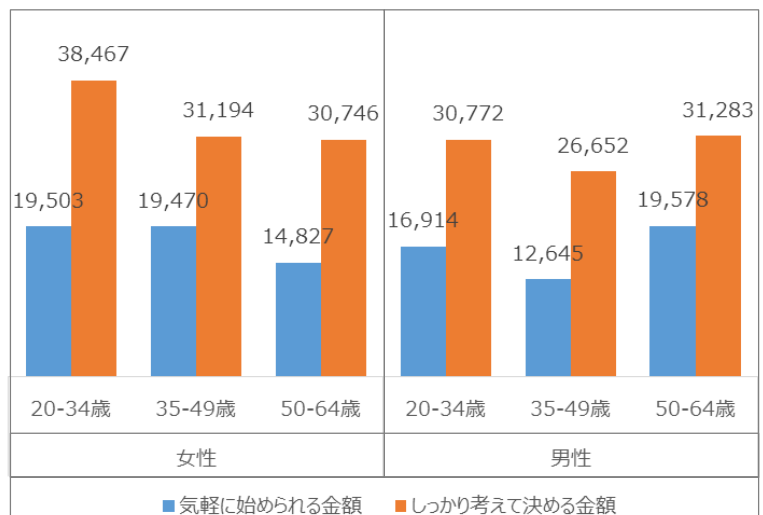
有効回答数(人)	女性			男性		
	20～34歳	35～49歳	50～64歳	20～34歳	35～49歳	50～64歳
気軽に始められる金額	509	207	202	500	197	195
しっかり考えて決める金額	509	206	204	503	198	194



◆仕事や資格取得の目的で かけられる金額 (目標達成までの総額 単位：円)

※有効回答者 実額回答

有効回答数(人)	女性			男性		
	20～34歳	35～49歳	50～64歳	20～34歳	35～49歳	50～64歳
気軽に始められる金額	499	202	191	494	199	185
しっかり考えて決める金額	500	201	191	497	198	184



※平均値を算出する際に異常値・無回答を除いているため、質問によりN数の違いがある。